



ロービジョン外来を開設しました

このたびJA尾道総合病院では、備後地域では初めてとなるロービジョン(LV)専門外来を開設しました。広島県では広島大学病院に次ぐ施設となります。

ロービジョン外来とはどんな診療科ですか？

患者さんの目の状態を正確に把握して、残っている機能を利用した視覚障害リハビリテーションやロービジョンケアを提供します。

連携している訓練施設・関係諸団体・患者団体を紹介

同じ状況の人たちのお話が聞きたいなど、ご希望の方には連携している団体を紹介し、団体をご紹介します。

社会福祉に関する書類作成

施設利用のための診断書、身体障害者診断書・意見書、補装具意見書など、ご希望の方に必要な書類の判定及び作成をします。

拡大鏡(ルーペ)



出典:視覚補助具ハンドブック(日本ロービジョン学会発行)

患者さん一人一人に合った補装具を紹介

手持ち卓上型拡大鏡、拡大読書器、音声パソコン、遮光眼鏡、弱視眼鏡、コンタクトレンズ、単眼鏡、白杖、日常生活用具(ロービジョンエイド)など、その人が抱えている不自由さを解消するための補装具を紹介します。

《～ロービジョン外来担当医師ごあいさつ～》

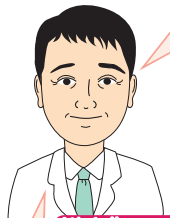


ロービジョン外来担当の **奈良井章人(ならい・あきと)** です。広島大学病院眼科に広島県初のLV外来を開設して8年が経ちました。現在は理化学研究所の高橋政代チームリーダーのもとで遠隔LVケアの研究にも参加しています。

ロービジョン外来は未来の眼科標準医療の一部です。

高橋政代先生と言えば網膜再生医療のイメージが強いと思いますが、それだけでなく網膜再生手術を受けた後に視覚リハビリとLVケアを行い、最終的には就業支援までをセットで総合的に提供する未来の眼科標準医療を目指しています。

患者さんへ



患者さんが笑顔で病院から帰宅することを目標にしています。見えなくて諦めていたことはありませんか？もしかしたら、できるようになるかもしれません。いろいろな病気により「見えにくく」なり、日常生活に不自由さを感じておられる方に「何が」「どのように」見えにくいのかをお聞きして、その問題を解消するための視覚リハビリとLVケアを提供したいと思っています。結果、一つでもできることが増えれば嬉しいですね。

地域のみなさま

このたび、備後地域最初のLV専門外来を研修医時代にお世話になった尾道総合病院で開設させていただくことになりました。病院スタッフの仲間とともに地域医療に貢献できれば幸いです。

*LV: ロービジョン

*高橋政代: 理化学研究所 CDB 網膜再生医療 研究開発プロジェクトリーダー

2014年9月、自己由来のiPS細胞を加齢黄斑変性の患者へ移植する臨床研究を世界で初めて実施された眼科医。